

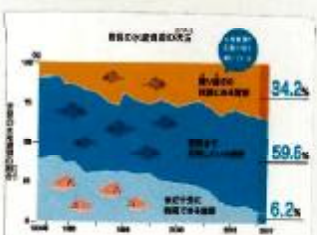
海を守る

ぼくは、SDGsの勉強を初めてするとき、動画を見て、ゴール14の「海の豊かさを守ろう」をきめた。ゴール14のターゲットは、魚のとりすぎ、排水ごみで海がよごれていることだ。

なぜ魚をとりすぎているのだろうか。それは、世界の人口が増え、漁業の技術も進歩したせいで、「魚のとりすぎ」が問題になっていく。その結果、果魚資源が減ってしまに、また十分に利用できる水産資源がたったの6.2%になってしまった。

このままだと食べられなくなる魚がでてくるかもしれない。そうならないようにするには、魚をずととり続けられるような仕組みを考えなくてはく必要があると思おう。

排水やごみで海がよごれている。プラスチックの生産量は大きく増えていて、1950年代とくらべて約200倍ものプラスチックが生産されています。プラスチックはごみとして捨てられると、自然に分解されることほとんどありません。世界中の海には毎年約800万トン東京スカイツリー222基分ものプラスチックごみが流れ込んでいるとわれ、このままだと、魚よりプラスチックごみのほうが多くなると予想されています。もしも、魚がプラスチックごみを食べているなら、息ができなくなて死んでいる魚がいるかもしれない。このままプラスチックごみをたくこん捨てられれば、いずれ絶滅し魚が食べられなくなる日がある。



がもしれません。

SDGs 目標には「魚のとりすぎ」「排水ごみ
ご海が汚れてい」「この二つがあります。この二つには
魚の絶滅危機につながります。一つはせりしただけ
ではあまり意味がなれないと思います。だからみななが
できることをやっていくことで海は守られると思っ
ています。

出典 edu town 目標4「海の豊かさを守ろう」